

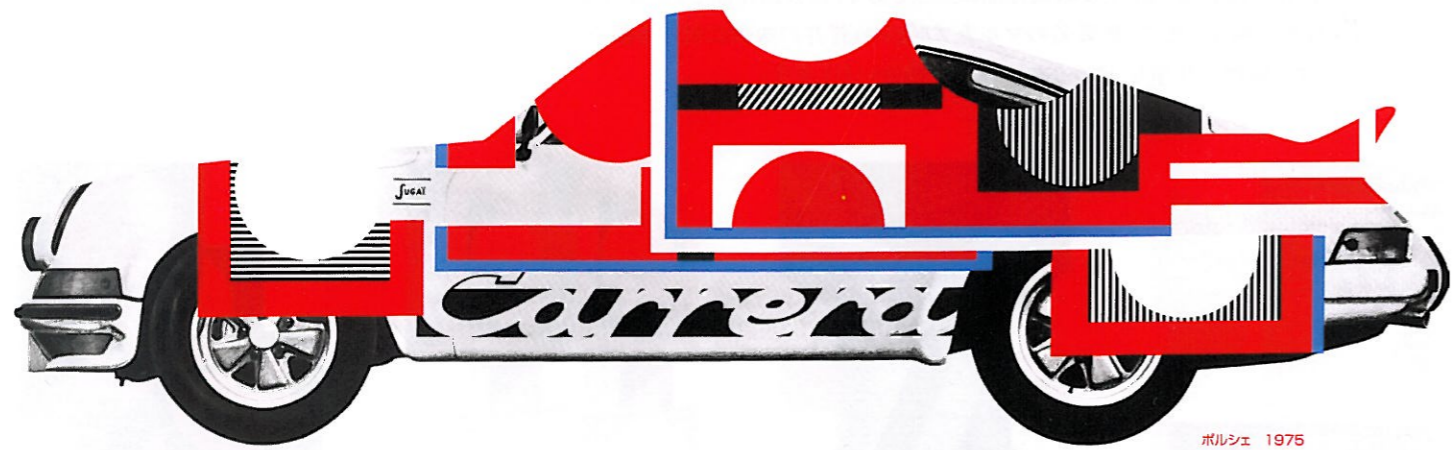


版による色彩と記号のシンフォニー

ポートレートA 1978

# SUGAI KUMI

パリと日本を駆けぬけた画家  
菅井 汲の眼差し



ポルシェ 1976

前期 2010.4.20 [火] ▶ 5.23 [日] 後期 5.25 [火] ▶ 6.27 [日]

開館時間：午前10時～午後6時（入館は5時30分まで） 休館日：毎週月曜日 ※但し5月3日（月・祝）は開館し、5月6日を休館とします。 入館料：一般 300(240)円 / 高・大生 200(160)円 / 小・中学生 100(80)円 ※65歳以上の方、障がいのある方とその付添いの方 1名は半額 ※（ ）内は20名以上の団体料金 主催：BBプラザ美術館 協力：神戸 雅堂

BB Plaza  
MUSEUM of Art  
BBプラザ美術館

# SUGAI KUMI

パリと日本を駆けぬけた画家  
菅井 汲の眼差し



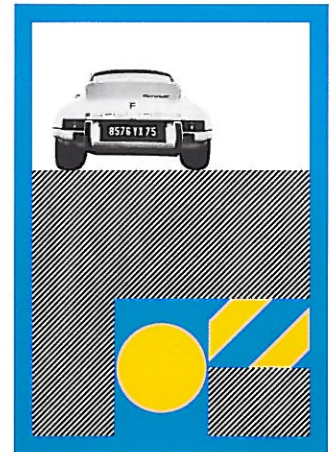
ラテン街の一角 1952



湖小 1965



ポートレート 1974



スクランブルE 1976

## 版による色彩と記号のシンフォニー

このたびBBプラザ美術館では、フランスと日本で活躍し国際的に高く評価された画家、菅井汲の展覧会を開催いたします。

菅井汲(すがい くみ 本名 貞三 1919-1996)は神戸に生まれ、大阪美術学校で学んだ後、阪急電鉄広告宣伝課で1945年まで商業デザインを担当。1952年に渡仏し、以来パリで制作を行います。

菅井の最初の版画作品は、1955年にパリのクラヴエン画廊の勧めで制作したリトグラフ《赤い鬼》に始まり、その後はリュブリアナ国際版画ビエンナーレ、ノルウェー国際版画ビエンナーレなどに度々出品しています。1960年の第2回東京国際版画ビエンナーレでは、国内の最高賞、国立近代美術館賞を受賞。1962年にはイタリアのヴェネツィア・ビエンナーレでも入賞するなど、版画においても独自の世界を構築し、注目を浴びます。

また、この頃乗り始めたスポーツカー・ポルシェは菅井の画業に大きな影響を与えます。作品には運転中の視野に飛び込んでくる道路標識が使われ始め、記号化と明快さが特徴となります。信号や道路標識に続いてトランプ、花札、S字など、記号的な図像が版画作品にも多く使用され、赤、青、緑、黄といった鮮やかな色彩が駆使されています。作品自体が菅井汲を代弁する記号となり、生きた時代や社会を象徴する記号とも言えます。

本展では、菅井の代名詞ともいえる版画作品に焦点をあて、初公開作品となる滞仏時に描かれたペン画、1980年代に制作した陶土による静物レリーフ等を併せて展示します。無署名のマルチプルという菅井の版画に対する眼差し、色彩と記号のシンフォニーでパリと日本を駆けぬけたシステムティックな版画の仕事を、ゆかりの地神戸で紹介いたします。



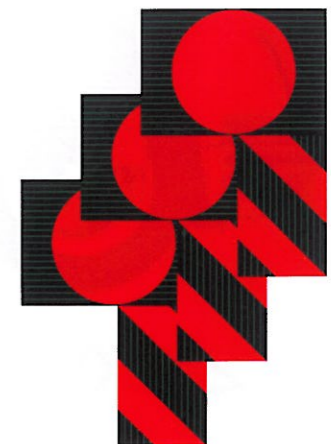
スクランブルF 1976



道 1976



グスタf 1980



グループ3 1980

交通のご案内：  
阪神岩屋駅改札を出てすぐ南側  
JR灘駅より南へ徒歩約3分  
阪急王子公園駅より南へ徒歩約10分  
駐車場(乗用車80台・1時間まで無料)

〒657-0845  
神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号BBプラザ2F  
TEL 078-802-9286 FAX 078-802-9287



BB Plaza  
MUSEUM of Art  
BBプラザ美術館